

## 社会科学学習指導案

日時 令和元年 12 月 6 日(金) 第 2 校時

生徒〇〇県立△△高校 3 年 1 組 30 名

場所 8502 教室

授業者 世界史 2

指導者 教諭 吉田正生

### 1. 単元名

「フランコは本当にファシストであったのか」

### 2. 単元目標と評価

#### (1) 目標

フランコ＝ファシストというこれまでの解釈・評価を再検討し、フランコに関する異なる解釈や評価をみることで、フランコ＝ファシストであるということに疑問を持つ。

フランコに対する人物批判学習を、物事に対する批判的な目をもつきっかけとする。

#### (2) 評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 知識・理解
<p>○ファシストとして解釈されてきたフランコに関心を持ち、それ以外の解釈にも目を向け、新たなフランコ理解をしようと積極的に調べ学習を行っている。</p> <p>○自らが考えるフランコ像についての積極的な考えを持っている。</p> <p>○自分なりのフランコの捉え方を、グループ内や学級で積極的に発表しようとしている。</p>	<p>○フランコ＝ファシストという解釈に疑問を持ち、新たなフランコ解釈について考えている。</p> <p>○フランコに対する3つの解釈の中から、生徒自身がフランコ像を選択し、理由も併せて考えることができる。</p> <p>○自分なりにフランコという人物を再評価できる。</p>	<p>○フランコに関する3つの解釈についての資料を読み、その内容について理解するとともに、それぞれのフランコ像について自分なりにまとめることができる。</p>	<p>○フランコ＝ファシストという考えにとらわれず、異なるフランコ解釈について理解することができる。</p>

### 3. 単元について

本単元は、指導要領の「内容(5)イ、二つの世界大戦と大衆社会の出現」を受けて設定したものである。特に本単元では、ファシズムの出現に目を向け、フランコの人物理解を中心に学習を進めていく。この学習では、ファシズムとは何であったのか、スペイン内戦、第2次世界大戦時のスペインの立場

等、当時の社会状況の中からフランコの人物認識をし、社会認識を成長させていくことを目標とする。

生徒たちはこれまでも世界史を学習してきたが、それは主に教科書を通じた学習であった。教科書に載っている知識は、一般的に正しいとされている知識である。生徒たちは、今までの学習において教科書の知識＝正しい知識という見方をしており、一般的知識に対する批判的な考えをあまり持っていない。しかし来春に高校を卒業し、社会人となったり、大学生となったりする生徒にとって、一般的に正しいとされている情報や、世間に広く出回っている情報が本当に正しいのかということについて疑問を持ち、批判的に捉えようとする眼を養うことはとても大切である。そこで生徒たちが一般的事象に対する批判的な眼を持つことができるようにするため、本単元を設定した。

本単元では、スペインのフランコという人物を学習対象として設定した。彼は、独裁者やファシストであるといった一面的な解釈で教えられてきた。独裁者のレッテルを張られたフランコを人物批判学習の対象として選んだのには、次のような理由がある。一つ目の理由としては、独裁的権力のような強大な権力構造に対する多面的で客観的な分析があまりなされてこなかったからである。人物解釈においても、善悪の判断だけで終わるのではなく、その人物に関する様々な問いを歴史的事実に基づいて考察し、人物認識を通じて社会認識を行うことが重要である。二つ目の理由は、独裁的権力の学習を通じて、間接的に身の回りの政治権力の在り方について生徒たちに考えさせるためである。社会問題の解決に際し、強力なリーダーシップが必要になることがある。その際に求められるリーダーシップは、問題を解決できたかどうかという結果によって、英雄となるか、独裁者となるかの解釈が分かれるのではないか。そして、英雄か、独裁者かを決めるのは我々の主観である。指導的、支配的な力をもった人物を解釈し、評価することは、現代の政治に対する政治的判断力の基盤の一つとなってゆくのではないかと考えられる。最後の理由として、独裁者という言葉は、生徒たちにもなじみがあるものであり、興味・関心を引き出しやすいのではないかと判断した。以上が、人物批判学習の対象をフランコとした理由である。

本単元は生徒たちに、フランコは本当にファシストであるのか、ファシストでないのなら、彼はいったい何者なのかについて考えさせることを中心に授業を進める。これまでの学習で、生徒たちはある程度、独裁政治やファシズムに関する知識を身に付けている。本学習では、ファシズムの意味、概念をもう一度理解し直すことから始める。そのうえで、フランコがファシストであったとされることへの疑問点や矛盾点をフランコに関する資料の中から見つけ出していく。フランコに対するファシストとは異なる解釈として、伝統的軍人としてのフランコと、権威主義体制の指導者としてのフランコの二つを取り上げる。この二つのフランコ解釈を理解したうえで、自分自身はフランコをどう解釈し、さらには評価するのか決定させる。

以上を踏まえたうえで、次のような指導計画を立てた。

#### 4. 指導計画(5時間扱い)

時	主な学習活動	各時間の評価規準
---	--------	----------

<p>1</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>フランコという人物を評価しよう</p> </div> <p>○第一次世界大戦から第二次世界大戦までの流れを復習する。</p> <p>○政治家や現代史の重要人物をどのように評価すべきか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強大な権力は善か、悪か。今までの一般的な解釈は本当に正しいのかを改めて考える。身近な例を出す。例) 小泉純一郎、田中角栄</li> <li>・ファシストとして知られてきたフランシスコ＝フランコについての一般的な解釈を理解し、今後の学習課題であることを把握する。</li> <li>・生徒に理解させた後、フランコには3通りの見解があることを理解させ、今後の授業で取り扱うことを把握させる。同時に、意思決定を行うことも把握させる。</li> </ul>	<p>エ 第一次世界大戦から第二次世界大戦までの流れを正確に把握している。</p> <p>A: 十分に理解している。</p> <p>B: 理解している。</p> <p>C: 理解していない。</p> <p>ア ファシストとして評価されてきたフランコに対し、関心を持つ。</p> <p>A: フランコやファシズムについて関心を持ち、積極的に調べようとしている。</p> <p>B: フランコやファシズムについて関心を持ち、教師の話に耳を傾けている。</p> <p>C: フランコやファシズムに関心を示していない。</p> <p>エ 一般的なフランコの評価について理解している。</p> <p>A: 一般的に、フランコ＝ファシストであると理解し、次の学習につなげることができる。</p> <p>B: フランコ＝ファシストという大まかな理解をできている。</p> <p>C: 理解が不十分である。</p>
<p>2</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>フランコはファシストなのか</p> </div> <p>○一般的に知られてきた、フランコ＝ファシストという概念について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜファシストといわれるのか、スペイン内戦時、第2次世界大戦時の資料を基に根拠を探し、まとめる。</li> </ul>	<p>エ フランコ＝ファシストという評価について理解できる。</p> <p>A: フランコがファシストであったと言われている理由について具体的事象を絡め、理解している。</p> <p>B: フランコがファシストであったと言われる理由を大まかに理解している。</p> <p>C: 理解が不十分である。</p> <p>ウ フランコがファシストとしていわれる理由を、資料をもとにして説明できる。</p> <p>A: フランコがファシストであるとされる理由を配布された資料から正確に読み取り、また、自ら資料を探してわかりやすくまとめられる。</p>

		<p>B: フランコがファシストだとされる理由を、資料をもとに読み取ることができる。</p> <p>C: 上記に満たない。</p>
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">伝統的軍人にすぎないのか</div> <p>○フランコがファシストであるということに対する矛盾点を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペイン内戦等の資料をもとに、フランコ＝ファシストであるということに疑問を持つ。</li> <li>・ 矛盾点を基に、フランコは伝統的軍人の一人であったという解釈を理解し、まとめる。</li> </ul>	<p>ウ フランコがファシストであったということに対する疑問点を資料から見つけることができる。</p> <p>A: スペイン内戦の資料をみて、フランコがファシストであったということに疑問を持っている。</p> <p>B: スペイン内戦の資料から、教師の働きかけを利用して疑問点を見つけることができる。</p> <p>C: スペイン内戦の資料から疑問点を見つけることが困難である。</p> <p>エ フランコが伝統的軍人の一人にすぎなかったという評価について理解できる。</p> <p>A: 十分理解している。</p> <p>B: おおむね理解している。</p> <p>C: 理解が不十分である。</p>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">フランコは権威主義体制の指導者だったのか</div> <p>○政治学者、リンスの解釈、フランコは権威主義体制の指導者であったのではないかということについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 権威主義体制とはどのような体制なのかを知る。</li> <li>・ 第二次世界大戦期、国際社会への復帰、経済成長期のスペインの様子、フランコの政策等から、フランコは権威主義体制の指導者であったという解釈を理解し、まとめる。</li> </ul>	<p>エ 権威主義体制について理解している。</p> <p>A: 十分理解している。</p> <p>B: おおむね理解している。</p> <p>C: 理解が不十分である。</p> <p>ウ フランコの統治期間 36 年の資料から、フランコは権威主義体制の指導者であったということを説明することができる。</p> <p>A: 資料から、なぜフランコが権威主義体制の指導者であったといえるのか説明できる。</p> <p>B: 教師の働きかけを利用し、資料から、なぜフランコが権威主義体制の指導者であったといえるのか説明できる。</p>

	<p>○フランコの評価を既習事項を基に、ファシスト、伝統的軍人、権威主義体制の権力者の三つにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代的背景に関連させてまとめて理解する。</li> </ul>	<p>C: なぜフランコが権威主義体制の指導者である 資料から、三つのフランコ解釈の根拠と問題点を押さえてまとめることができる。</p> <p>A: 資料から、主張の根拠と問題点を見つけ出し、まとめることができる。</p> <p>B: 資料から主張の根拠を見つけ出し、まとめることができる。</p> <p>C: 上記に満たない。ったといえるのか説明できない。</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">フランコの3つの解釈</div> <p>○学習した3つのフランコ評価について復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシズムとしての評価</li> <li>・伝統的軍人としての評価</li> <li>・権威主義体制の指導者としての評価</li> </ul> <p>○3つの評価をもとに、自分自身はフランコをどのように解釈するのか選択、意思決定する。</p>	<p>エ それぞれの解釈の立場を正確に把握している。</p> <p>A: 十分に理解している。</p> <p>B: おおむね理解している。</p> <p>C: 理解していない。</p> <p>イ 3つの評価を学習したうえで、自分自身のフランコ評価を行うことができる。</p> <p>A: フランコの評価に関して、一つの解釈だけでなく、さまざまな角度からみて考え、自分の意見を持っている。</p> <p>B: フランコの評価に関して、自分なりの意見を持っている。</p> <p>C: 教師の支援を得て、フランコ評価を行っている。</p>

## 5. 本時の学習(5/5 時間目)

### (1) 本時の目標

- ・これまでの学習を通して、フランコに対する3つの評価を理解する。
- ・3つの解釈のうち、フランコについてどのように解釈するのかを選択し、理由も併せて説明できる。

### (2) 評価規準

- ・積極的に自分の意見を発言しようとしているか。(ア 関心・意欲・態度)
- ・フランコに対する3つの評価を再確認し、それぞれの評価について理解しているか。(エ 知識・理

解)

- ・フランコの解釈についての意見を、理由も併せて説明することができるか。

(イ 思考・判断・表現)

(3) 準備

- ・ワークシート

(4) 展開

過程 (時配)	教師の指導	生徒の活動	☆指導上の留意点 ★評価
導入 ・振り返り (20分)	○前時までの振り返りを行う。 「前回までにフランコの3つの解釈を学習しました。どのような解釈だったか、覚えていますか。」 「その解釈と、その解釈がなされた背景についてプリントの穴埋めをして、復習をしましょう。」	○前時までの振り返りをする。 ・フランコはファシストであるという解釈。 ・フランコは、伝統的軍人であったという解釈。 ・フランコは権威主義体制の指導者であったという解釈。 ・ファシスト解釈 第二次世界大戦の図式 民主主義VSファシスト この図式がスペイン内戦に当てはめられた結果、フランコ＝ファシストと解釈という解釈が生まれた。 ・伝統的軍人とする解釈 冷戦構造が崩壊すると、社会革命の存在やソ連の政治介入などの隠蔽されていた事実を示す諸事実を示す研究が一般化し、伝統的軍人という解釈が生まれた。 ・政治学の世界では、独裁と民主主義の中間的政治形態として	☆3つの解釈を再確認させる。 ☆解釈を支える事実についても振り返る。 ☆グループワークによって振り返りを行う。 ☆適宜机間指導を行い、説明が困難な生徒には支援を行う。 ★それぞれの解釈を、歴史的背景をもとに理解している。

<p>展開 (25 分)</p>	<p>「配布されているワークシートがありますね。そこには、3つの論と、その根拠が載っています。それをもとに、自分なりにフランコを解釈しましょう。」</p> <p>○ワークシートに自分なりのフランコ解釈をさせる。</p> <p>「ワークシートの意見をもとにグループで意見交換をしましょう。」</p> <p>「話し合いをしてみなさん意見深まりましたね。それでは、話し合っているいろいろな人の意見を聞いたうえで、あなたの最終的な解釈、その理由を発表してくだ</p>	<p>後発発展諸国に広範にみられるとされる権威主義体制の指導者の典型例としての見方が広まった。</p> <p>○フランコ評価をワークシートに書く。</p> <p>○意見を交換する (解釈について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシストと解釈する。</li> <li>・伝統的軍人と解釈する。</li> <li>・権威主義体制の指導者と解釈する。</li> </ul>	<p>☆机間指導 誰がどのような意見を持っているか把握する。 考えるのが困難な生徒には、一つの解釈を選ばせ、その理由づけをさせる。</p> <p>★ワークシートに自分の考えを筋道立てて解釈している。 ★積極的に発言しようとしているか。(ア)</p> <p>☆話し合いの手順を示しておく。 1 解釈とその理由を順番に言う。 2 質疑応答</p> <p>☆グループでの結論を出すわけではなく、考えを深めさせる。</p>
--------------------------	---	--	---

<p>さい。」</p> <p>○本時の振り返りと次時予告を行う。</p> <p>「いろいろな解釈、評価の仕方がありました。実は、この中のどれが正しいのかではなく、みなさん自身が考えることが大切なのです。</p> <p>今回の単元を通してみなさんには一般的に正しいとされる知識を、批判的な目で見てきてもらいました。既存の考え方にとらわれないことは重要です。次回はこれまでの学習内容を踏まえて、皆さんなりのフランコ評価をしてもらいます。」</p> <p>まとめ(5分)</p>	<p>さい。」</p> <p>(評価について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランコのことを評価できる。</li> <li>・フランコのことは全く評価できない。</li> <li>・評価できる部分もある。</li> </ul> <p>ファシストである</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシズム国家から支援を受けていたから。</li> <li>・ゲルニカへの爆撃を容認していたから</li> </ul> <p>伝統的軍人である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スペインにはそういう伝統があったから</li> </ul> <p>権威主義体制の指導者である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その時の情勢に合わせて政治を行っていたから</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランコは、ファシストだと思っていたが、そうとも言い切れない。</li> <li>・フランコを見る視点によって、いろいろな解釈の仕方があることを知った。</li> </ul>	<p>★自分が選んだフランコ解釈を説明できているか。(イ)</p>
--	---	-----------------------------------



(5)板書計画

フランコの人物像の復習	・フランコ=権威主義体制の指導者論
・フランコ=ファシスト論	全体主義と民主主義の中間に位置/大衆扇動的/部
ファシズム/ドイツ/イタリア/スペイン/フランコ/ド	下/各種勢力の意見を聴取/改造/中立国/非交戦国/
イツ/ゲルニカ	ドイツ
第二次世界大戦について	
第二次世界大戦/ヒトラー/枢軸国/ヒトラー	学習課題:3つのフランコの解釈のうち、どれを選
	択するか。
・フランコ=伝統的軍人論	それぞれの解釈
政治的混乱の場面で、軍非常事態として軍政を行	・
う	・
軍人/人民戦線/反革命国民戦線/スペイン内戦/統一	・
ファランヘ党	

